

京田辺キャンパスの玄関口にモニュメント



モニュメント横には学生の憩いのスペースが整備されている。



JR同志社前駅から京田辺キャンパスへ続く通学路に、高さ6mのモニュメントがお目見えした。同志社創立125周年を記念して造られたもので、上から見ると正三角形を3つ寄せた校章の形になっており、見る角度によって形や色彩などのイメージがさまざまに変化する。これは通学路周辺環境整備としてプラザ的に整備されたキャンパスの入口に建てられたもので、夜間にはライトアップされ、京田辺キャンパスにふさわしい姿を映し出している。

このたび優れたサインデザインに贈られる第34回SDA賞に入選した。

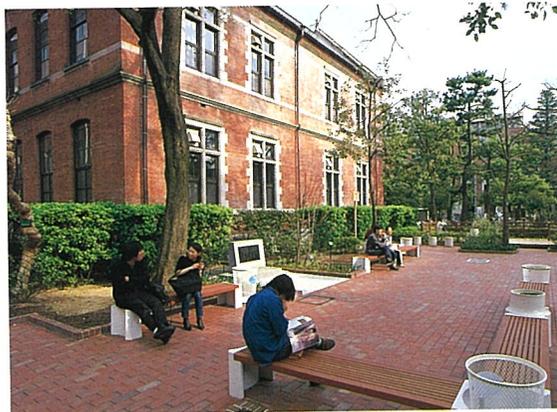
扶桑館リニューアル

今出川キャンパスの扶桑館は、昨年来行われていた改修工事が完了し、4月から使用が再開された。エントランスのデザイン変更でイメージが一新した扶桑館は、グローバルセミナー室、マルチメディアルーム、ワールドワイドビジネス研究センター事務室、コラボレーションルームなど、高度情報化時代に対応した施設を備えた先進的な施設として生まれ変わった。



ハリス理化学館西に

小公園完成



扶桑館のリニューアルにともない、ハリス理化学館西側に小公園が整備された。豊かな木々に鯉の泳ぐ池があり、そばにはウッドデッキ。尹東柱の詩碑や同志社英字新聞部OB会による「同志社創立百周年記念」の碑も建てられているこの公園には、授業の合間にくつろぐ学生の姿が絶えない。



3高校がイギリスへ ラグビー遠征

高等学校、香里高等学校、国際高等学校のラグビー部の合同チーム総勢55人が、3月15日から8日間の日程で、イギリスへと旅立ち交流試合に臨んだ。同志社が創立125周年を迎えることもあり、3校揃って初めての海外遠征が実現、ラグビー発祥の学校であるラグビー校などと4試合を戦い、3勝1敗と善戦した。滞在中は交流会等もあり、ラグビーを愛する者同志で親交を深めた。



「同志社函館講座」開催

7月1日、同志社大学・同志社女子大学の共催で開催された「同志社函館講座」。新島襄ゆかりの地「函館」で行われたこの講座には両大学の卒業生はじめ一般の市民の方々の参加も多数見受けられた。「新島襄が描いたスケッチ」と題したパネル展示も併設し、同志社と函館の歴史的交わりの深さを感じていただく機会となった。(90ページに関連記事)

